



川口工業高校定時制
保健室
令和3年9月2日

2学期がスタートしました。しかし、この夏休み中、新型コロナウイルス感染症の感染者が急激に増加してしまいました。今学期も今まで以上に感染症対策を徹底して行いましょう。

◆埼玉県のホームページでは、「おうちでマスク」ということがすすめられています。その中から一部引用します。

『感染経路で最も多いのは、実は家庭内。家庭ではどうしても感染予防の意識が薄くなりがちですが、家に外からウイルスが持ちこまれてしまうと、あっという間に家族の中で感染が広まってしまいます。家においてもリスクがある、ということをお忘れずにいてほしいと思います。』

～ おうちでマスク ～ 次の3つの場面で、家庭でもマスク着用を意識してください

- 1、やむを得ず感染リスクの高い場所に行ったあと。(家族にうつさないために。)
- 2、自宅に高齢者や基礎疾患がある、万が一にも感染してしまうと大変なことになる家族と話をする時。
- 3、発熱など「体調が悪いかも」と思った時には家の中でもマスクを。

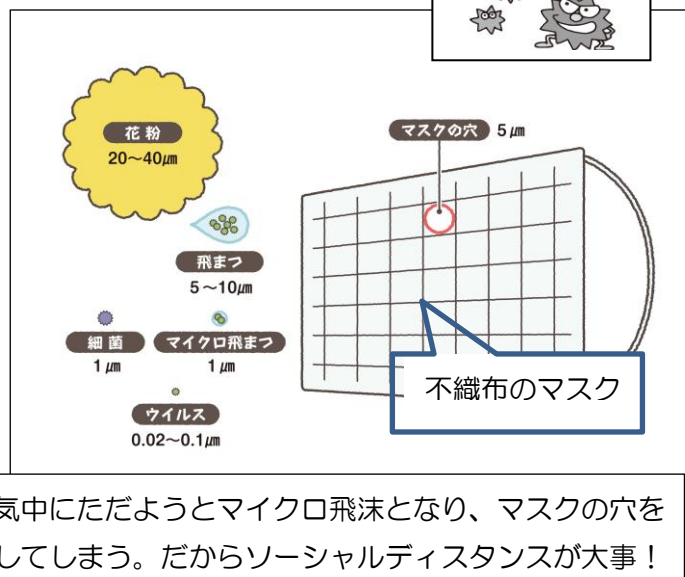
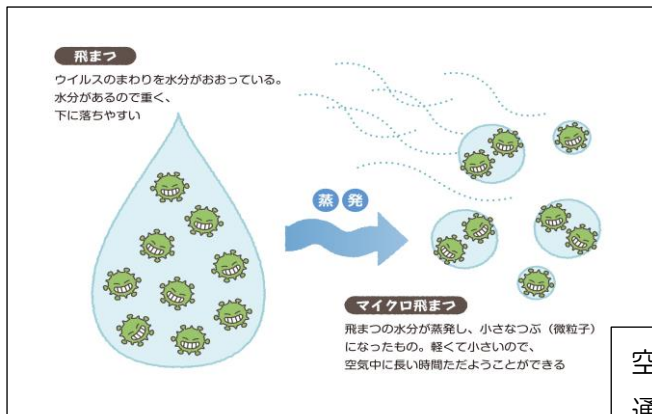
◇ マスクの効果について

(情報をまとめましたので参考にしてください。)

- ① ウイルスの吸い込みを防ぐ
- ② ウイルスの飛沫の吐き出しを防ぐ



『飛沫のこと』



【マスクの着用の効果について】

豊橋技術科学大学がスーパーコンピューター「富岳」を使ってシミュレーションを行った結果より

	マスクなし	不織布マスク	布マスク	ウレタンマスク
吐き出し飛沫量	100%	20%	18~34%	50%
吸い込み飛沫量	100%	30%	55~65%	60~70%

よく使われている不織布のマスクは、マスクなしの時と比べて、自分から飛沫を飛散させるのは20%、他の人が飛散させた飛沫を吸い込むのは30%に抑え込むことができ、布やウレタン製よりも着用効果が高いとの結果が出ました。

でも、しっかりとフィットさせないとその効果も台無し。マスクは適切に着用を!

